

会 議 結 果 の 公 表

附 属 機 関 等 の 名 称	沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会
開 催 日 時	令和8年8月17日（月） 10時30分～12時00分
場 所	沖縄県教育庁1階会議室
出 席 委 員	三田井 会長、平野 委員、銘苅 委員、狩俣 委員、田名 委員、平良 委員
諮 問 事 項	諮問事項1 令和7年度モニタリング結果の検証について
公 開 ・ 非 公 開 の 別	公開
会 議 の 概 要	諮問事項について、質疑応答及び審議を行った。 委員からの質疑及び審議結果等については別添のとおり。
所 管 課 等	沖縄県教育庁生涯学習振興課
問 い 合 わ せ 先	管理班 担当 原・兼島 ☎ 098-866-2746
備 考	

令和8年度 沖縄県立青少年の家におけるモニタリングの検証結果について
(令和7年度実績分)

1 施設名：沖縄県立青少年の家（名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣）

2 開催日時：令和8年8月17日（月曜日）10時30分～12時

3 開催場所：沖縄県教育庁1階会議室

4 出席者：委員6人中 6人出席

（会長）三田井 裕 （国立沖縄青少年交流の家・元所長）

（委員）平野 貴也 （天理大学・教授）

（委員）銘苅 幸多 （銘苅マネジメントオフィス・代表）

（委員）狩俣 直美 （浦添市立教育研究所・所長）

（委員）田名 彩子 （ガールスカウト沖縄県連盟・連盟長）

（委員）平良 亜利沙 （沖縄県特別支援学校PTA協議会・会長）

（事務局）教育庁生涯学習振興課長、管理班班長、管理班員

5 検証事項：沖縄県立青少年の家令和7年度実績に係るモニタリングの実施結果

6 検証内容

(1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告

- ① モニタリングは適正に行われているか
- ② 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
- ③ 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

7 検証方法

- 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
- 委員からの質疑・意見

8 検証結果

(1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告

- ① モニタリングについては、概ね適正に行われている。
- ② 指定管理者に対する施設所管課の指導・助言はおおむね適切に行われている。
- ③ 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や施設所管課の対応は概ね適切に行われている。

9 主な質疑・意見

- 履行確認の評価において、利用実績のみが評価対象となっているのか。
(事務局回答) 指定管理者のモニタリングシートの総合評価における履行確認については、定量的な評価として、利用実績(延べ人数)のみが評価対象となっている。
- 石垣青少年の家で不登校児向けの体験プログラムが実施されているが、他施設でも同様の取り組みはあるか。
(事務局回答) 石垣および宮古の2施設において不登校児童生徒を対象とした主催事業を実施している。また、宮古および玉城の2施設においては、随時受け入れ可能な体制を整えている。
- 石川青少年の家の利用者数が、前年度の実績に比べ今年度の実績が減少している要因は何か。
(事務局回答) 玉城青少年の家が建替工事の間、島尻地区等の小学校が石川青少年の家を利用していたが、玉城青少年の家の完成に伴い、平年の水準に戻ったものととらえている。
- 糸満青少年の家の利用者数が、前年度に比べて実績は伸びているものの、計画値に対して実績が少なかった要因は何か。
(事務局回答) 計画値自体が実情と乖離が生じているため、今後、県の計画見直し等のタイミングで実情に即した数値に擦り合わせるよう努めていく。
- 宮古は老朽化により水回り(浴室・トイレ等)の評価が低いとのことだが、改築や改善の予定はあるか。
(事務局回答) 宮古青少年の家(築45年)は、建て替えではなく長寿命化を目的とした大規模改修工事を予定している。宮古については次年度に工事を予定しており、利用者の意見や要望を反映できるよう、施設側と県で調整を進めていく。
- 石川の外部委託比率が突出して高くなっているが、どのような業務を委託しているのか。プログラムの開発委託か。
(事務局回答) プログラムの開発委託ではなく、敷地が広大であるため主に敷地内の環境美化や保守管理に関する業務を外部委託している。
- 衛生保守管理業務(害虫調査等)が「実施されていない」施設が3つあるが、これは対象となる設備・施設がないということか。
(事務局回答) ビル管理法に規定される「延床面積3,000㎡以上」の特定建築物が対象となり、未実施であった1施設について、指導・助言を行い、今年度より実施・改善される予定である。

10 会議の公開状況：公開